



謹賀新年

新年あけましておめでとうございませう。

みなさまにとって素晴らしい一年になることを、祈念いたします。

昨年も多くの方からご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。当院のような医療機関は、先生方からのご紹介なくしては存続できません。特に今のようなコロナ禍においては、横のつながり、同じ開業医の先生方と心が通じ合えることで、何とか乗り切ることができるように感じます。

二〇二〇年は年頭から新型コロナウイルス感染が拡大し、我々耳鼻咽喉科医にとっては非常に厳しい年になりました。毎年九月に関西電力病院耳鼻咽喉科とともに開催しておりました関西みみはなのど治療研究会も二〇二〇年は開催を見送りました。

医療の世界のみならず、産業構造そのものがコロナ感染拡大に伴い大きく変化しようとしております。これまで以上に経済社会活動がリアルな世界からサイバー空間へ、移行が加速してゆくものと予想されます。

サイバー空間とリアル空間における医療をどのように融合させるべきでしょうか



Photo by Mikio HASUI

診療についても、これまでの原則対面診療が必須という建前から、オンライン診療解禁の流れとなっております。また今の時点では、医療機関も患者さんもオンライン診療に適応できているとは言えませんが、今後その流れが進むことはあっても元に戻るといえることは考えにくく、オンライン上でAIによる簡易診断も行われているようです。膨張する医療費を抑制するという観点から見ても、わが国においてもAIが今以上に導入される可能性は高いと思われれます。

翻って、我々耳鼻咽喉科医としては今後どのように振舞うべきなのでしょう。疾患そのものは急速に変化するのではないと思われれますが、患者さんの立場から考えると、何か病的な症状を自覚された場合、これまでのようにすぐに医療機関へ直接足を運ぶ、という機会は減ってくるのではないかと予想されます。ネット上で情報を収集し、OTC薬で対応可能であればそのように対応されるでしょう。またはオンライン診療への心理的抵抗がなくなれば、一気に拡がりを見せる可能性もあります。LINEヘルスケアなどでも、オンラインでの無料相談を提供しており、耳鼻咽喉科医



が百七十名（二〇二〇年十二月時点）登録されています。

一方、米国では、Amazon に対抗して、ウォルマートが勢いを盛り返しつつあります。カスタマーはウォルマートのHP上で買い物をして、近くのウォルマートの窓口に行って注文したものをピックアップするというモデルを作り上げています。このように医療の世界でもサイバーとリアルをうまく繋げるということの重要性は、重要な点ではないかと考えております。

当院では、数年前から海外からの音声疾患の患者さんについては、スカイプなどで実際に患者さんとやり取りをしたのちに、受診のスケジュールを決めるという形をとってまいりました。患者さんご自身の医療情報（病歴、治療歴、局所所見など）を事前に提供してもらい、実際の音声を聴きながらある程度考えられる疾患についてお話しするという形です。患者さんの立場から考えても、HP上の情報だけを見て海外から受診を決めるというのは、ハードルが高いと思われれますので、

受診の前にオンライン上での接点を作るといことは必要であると思われれます。

また、現時点でも耳や鼻の中を映し出す簡易カメラなどをスマホに接続することが可能ですので、そういったデバイスが手軽に使えるようになれば更にオンライン診療が進む可能性があると考えております。聴力検査などもPCにヘッドフォンを接続して、クラウド上で行えるようになる可能性もありますし、すでに補聴器のフィッティングもオンラインで行える機種も発売されています。

そういった新たな診療形態を模索してゆき、耳鼻咽喉科開業医として時代の要請に合わせて変化することが必要ではないかと考えております。まだまだ先が見通せない状態ではありますが、明けぬ夜はありません。夜明け以降に備えてどのようなことができるのか、またみなさまと意見交換させていただければと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

～ 京都耳鼻咽喉音聲手術医院という名前にかける想い～

それは、先人の先生方が積み上げてこられたものを継承、発展させていくこと、そして患者さんの心に寄り添う「美しい医療」を提供すること
私たちの決意です。

京都耳鼻咽喉音聲手術医院

京都耳鼻咽喉科手術音聲院



医師 東家 完



言語聴覚士 尾崎 千宝

明

けましておめでとうございます。私が当院に参って、丁度四年が経過しました。当初はこれほど長く在籍するとは思っていなかったのですが、当院での診療内容の面白さ、スタッフの温かさについて居心地が良くなってしまい、気づけばこんなに時間が経過していました。赴任以来、特に音声と鼻副鼻腔についての外来診療、手術を行なっております。

昨年のトピックとして、以前「みみはなのど研究会」でも報告しました「声帯へのPRP（多血小板血漿）注入」の長い臨床研究が終わり、昨年十一月に大阪大学再生医療等認定委員会の審査を経て、晴れて治療として臨床での施術が可能になったことが挙げられます。自由診療となりますのでそれなりに高額な治療になってしまいますが、声帯痕や声帯萎縮症に対する効果が期待される、新たな治療法です。音声疾患は器質的、機能的疾患とも一筋縄ではいかない症例も多いのですが、今後も新たな治療を模索しつつ、患者様の症状改善のための努力を続ける所存です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

一〇一八年二月より当院で常勤として勤務しております。言語聴覚士（以下ST）の尾崎千宝と申します。先生方もご存じのようにSTは、言語障害、聴覚障害、ことばの発達遅れ、声や発音の障害、嚥下障害などの問題を対象とし、当院では主に音声リハビリテーションと補聴器外来での聴覚リハビリテーションを行っております。当院の特徴は、日本各地から、また時には外国から難治の音声疾患の患者さまが来院されることです。音声外来では、田邊先生、廣芝院長、東家先生の診察に同席し、すぐには診断が困難な患者さんの所見を多角的に評価したうえで、治療方針を決定いたします。外科的治療と音声治療は相補的なもので、それらを組み合わせることで患者さまによりご納得いただける治療を提供しております。

例えば、保育所や学校で勤務される女性に多くみられる声帯炎や声帯結節では、STによる声の衛生指導や発声練習を行っております。声帯結節は音声酷使が原因のことが多いのですが、患者様自身がそのことに気づいていないことも多く、「だまっていたら治る」と言われてとまどう患者さんも多く見受けられます。STは、音声酷使や大声など誤った発声習慣を時間をかけて修正したり、喫煙などの乾燥など不適切な生活習慣、環境要因を適切な方向に導くことにより声帯結節を治療します。また最近では、コロナ禍でZOOMなどオンラインでの会話が多くなった影響で、過緊張性発声障害を生じてしまった方もおられました。このようなケースでは、発声方法が悪く声帯に負担をかけているため、音声リハビリテーションを行います。具体的には、音響分析・発声機能検査を用い、声の高さ・強さ・音質などに着目し、発声を直接的に改善していきます。また、呼吸、発声、共鳴のバランスを整え、喉頭の緊張を調整することで、より良い発声へとつなげていきます。



京都耳鼻咽喉科手術音聲院が、よりレベルの高い、細やかな医療を提供できるようにSTとして貢献していきたいと考えています。対応に悩まれる音声疾患の患者様がいらつしやれば、ご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。

制服を新調しました

二〇二〇年七月にスタッフの制服を新調しました。デザインは拘り抜いたもので、右腕の袖に「京都耳鼻咽喉科手術音聲院」のエンブレムがあらわされているのが特徴的となっております。スタッフからも制服に袖を通すと身が引き締まる思いになると好評を得ており、医療に携わる者としての想いを絶えず身にまとい患者様に寄り添った医療体制を目指し日々励んでおります。



Photo by Mikio HASUI

医療連携スタッフより

昨年より、患者様をご紹介いただいている医療機関様には、その方々の治療経過ご報告などの診療情報提供と医療連携を強化する目的で、数ヶ月に一度、訪問させていただいております。その際に先生方から様々なご質問をいただき、私達自身も非常に勉強させていただいております。

当院で行う短期滞在手術については、入院日数が短いというだけでなく、術後の通院間隔や日常生活、仕事復帰についても、病院とは若干スケジュールが異なるため、そのメリットとデメリットをご説明するのも私たちの役割です。手術に至るまでは、患者様に対して疾患と手術内容の説明をできるだけ丁寧に行い、また術後の診察についても、ご紹介いただいた先生と連携してフォローアップを行うことで、できる限り当院への通院のご負担を減らせるよう配慮しております。

当院が掲げる「美しい医療」は、一色先生、田邊先生、岩永先生をはじめとする、諸先生方より伝統を受け継ぎ、一人でも多くの患者様にその「美しい医療」を提供し、喜びを共有することです。その架け橋となるため、言わば「営業係」のような存在である私たちが、先生方と患者様のお役に立てるよう全力を尽くします。今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

川崎雅子 大友恭子 不破恵子



Instagramはじめました

FOLLOW ME



Instagram

2020年11月より
Instagramをはじめました。
日々の活動などを
アップしております。

